

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
言語文化	総合ビジネス科・1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 精選言語文化（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 五訂版常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 国語必携ライトパーフェクト演習
-------------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能] ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、活用できるようにする。また、言語生活を豊かにするために我が国の言語文化について理解している。 ア言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ウ我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができた。 エ我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できた。 オ古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについても理解できた。 カ我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について思索を深めた。</p>	<p>B 評価の規準 [書くこと] ・自分の知識や体験の中から適切な材料を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にできた。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫できた。 [読むこと] ・様々な時代に書かれた我が国の伝統や文化に関する文章を読み、先人の考え方について論理的に読み取り、共感したり想像を働かせたりするとともに、その内容について他者と共有することで思索を深めることができた。</p>	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・文章を読むことをとおして、現代の私たちを取り巻く社会や自然に対する関心を高めることができた。 ・広い視野で物事を捉え、国際理解を深めるとともに、国際協調の精神を高めるために、学んだ内容を活用できた。 以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)</p>
<p>※定期考査および単元別テストおよび古文単語小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	耳覚めの季節(青山七恵)	4	語彙や表現に関する理解を深める。 展開や構成に留意し、筆者の意見を捉える。
	児のそら寝(宇治拾遺物語) 古文学習のしるべ1「古文の言葉と仮名遣い」 古文学習のしるべ2「古語を調べるために」	6	語句の学習, 歴史的仮名遣いの理解 歴史的・文化的背景などの理解
6	訓読の基本(漢文入門)	4	訓読法, 音読, 返読文字, 再読文字
	矛盾(韓非) 漢文の窓1『韓非子』の寓話のねらい」	3	語句の学習 歴史的・文化的背景などの理解
7	羅生門(芥川龍之介) 言語活動「翻案作品を原作と読み比べる」 コラム「小説の読み方」	6	登場人物の心理描写の読解を通して主題を把握し、普遍性を実感する。言語活動
8	ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	4	語句の学習, 主題の把握
9		5	文法事項(用言(動詞)について) 語句・句法(使役・反語)の学習 言語活動
10	富嶽百景(太宰治) 現代文の窓3『富士は日本一の山か?』	8	語彙や語句に関する理解を深める。 比喩表現の理解を通して主題を把握する。
11	和歌(古今・新古今) 古文の窓6「勅撰和歌集の構成」		言語活動 語彙力向上, 表現技巧の理解
12	筒井筒(伊勢物語) 古文の窓3「恋愛と結婚」	4	語句の学習, 主題の把握 文法事項(用言(形容詞・形容動詞)について 助動詞について, 係り結びの法則について)
1	晏子之御(史記)	4	語句の学習, 主題の把握 言語活動(登場人物の人物像)
	富士の山(竹取物語)	6	語句の学習, 歴史的・文化的背景などの理解
2	古文の窓8「古典文学の中の富士山」	3	文法事項(用言について, 係り結びの法則) 言語活動
3	小景異情(室生犀星)		五音、七音のリズムを持った文語詩を読み味わい、そこに込められた作者の心情について考える。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	普通科1年 探究科1年 総合ビジネス科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表 GEO（第一学習社）
-------------	---

科目の目標		
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICTも活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B評価の規準 [わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げるができる。 各時間の「問い」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。 	<p>B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い」や「課題」に対して、 <ol style="list-style-type: none"> ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見い出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。 	<p>B評価の規準 [粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 <p>[自分なりの工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学びの振り返りを生かして、ノートを取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 <p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、単元テスト及び定期考査でも行います。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間、地球は眠らない。 ・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 ・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を使わない人は、ほとんどいない。 ・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。 ・このテーマ、どんな地図で表すべきか。 ・地図の可能性は、まだまだ広がる。
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地球は、どんどん小さくなっている？ ・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。

			<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。 ・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。 ・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？
7	2-1-1 生活文化の多様性と国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃがと言えど？「牛肉だ！」「豚肉だ！」 ・宗教に根ざした、習慣や文化がある。
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> ・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。 ・流れる川が、地形を変えていく。 ・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。
8 9	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。 ・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？ ・雨が少ない！どうやって水を得る？ ・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。 ・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？ ・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。 ・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。 ・ものづくりも働き方もICTが変えていく。
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海に、何が起きているのだろう。 ・森林減少と砂漠化、その原因を探る。
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、欲しがる。だから、取り合いに。 ・地球を、「電池切れ」にさせないために。
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。 ・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、何を求めて都市に向かうのか。 ・なぜ、再開発が必要なのか。
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。
1 2	2-2-7 持続可能な社会の実現をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。
	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> ・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。 ・四季ある国の、季節ごとの天候は？
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が発生するメカニズムとは。 ・くり返す地震を、災害史から学ぶ。 ・火山をよく知り、共存していくために。 ・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？ ・大雨で、あふれる水。何が起ころのだろうか。 ・都市を襲う災害、危険はどこにある？

			<ul style="list-style-type: none"> ・地域を災害から守るため、いま、できることは？
3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！ ・「〇〇かな？」まずは仮説を立ててスタート。 ・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。 ・地域のこれからの、皆で考えていくために。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学 I	総合ビジネス科・1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新高校の数学 I (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 教科書学習ノート数学 I
-------------	---

科目の目標		
<p>○数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	①命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, ②図形の構成要素間関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, ③関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, ④社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（評価場面）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価）</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価・相互評価）</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
○定期考査の点数だけでなく、日々の授業の取り組みでも評価します。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 数と式 第1節 数と式の計算	6	1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法 4. 多項式の乗法
5		7	5. 展開の公式 6. 因数分解 7. 展開, 因数分解の工夫 8. 根号を含む式の計算 9. 実数 ○到達度チェックテスト
6	第2節 1次不等式	6	1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解 ○到達度チェックテスト
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ	5	1. 関数 2. 1次関数のグラフ 3. 2次関数のグラフ (1)
	1学期期末考査		
7	第2節 2次関数の値の変化	6	4. 2次関数のグラフ (2) ○到達度チェックテスト 1. 2次関数の最大値, 最小値
8		2	2. グラフと2次方程式
9		4	3. グラフと2次不等式 ○到達度チェックテスト
	第3章 図形と計量 第1節 三角比	7	1. 直角三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用
10	第2節 三角形への応用	11	4. 三角比の相互関係 5. 鈍角の三角比 ○到達度チェックテスト 1. 正弦定理
11		9	2. 余弦定理 3. 三角形の面積 ○到達度チェックテスト

	2 学期期末考査		
1 2	第 4 章 集合と命題	8	1. 集合 2. 命題と集合 3. 必要条件と十分条件 ○到達度チェックテスト
1	第 5 章 データの分析	6	1. データの整理 2. データの代表値
2	3 学期学年末考査		
		6	3. データの散らばり 4. データの相関 5. 仮説検定の考え方
3		1	○到達度チェックテスト
	総復習	5	問題演習

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	1年普通科・探究科・総合ビジネス科	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6 7	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
	体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
		2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境

8	球技（選択②）	3	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択2）	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	1 2	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	7	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	1年普通科・探求科・総合ビジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・ 単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・ 単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・ グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・ 発表の内容を分かりやすく工夫したり、説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・ 互いに協力して教え合おうとしている。 ・ 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・ 授業に積極的に参加しようとしている。 ・ 発表後に質問をおこない、興味関心を持つようにしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	健康の考え方と成り立ち	1	座学、グループワーク
5	私たちの健康の姿	1	座学
6	生活習慣病の予防と回復	1	座学、グループワーク
	がんの原因と予防	1	座学
	がんの治療と回復	1	座学、グループワーク
7	運動と健康	3	課題学習（グループワーク）
	食事と健康		
7	休養、睡眠と健康	1	クラス別発表（グループ）
	心肺蘇生法	1	実技
8	精神疾患の特徴	2	座学、単元テスト
9	精神疾患の予防		
10	精神疾患からの回復		
11	喫煙と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	飲酒と健康		

	薬物乱用と健康		
		1	クラス別発表（グループ）
1	健康に関する意思決定・行動選択	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくり	1	座学、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 	5	調べ学習（グループワーク）、実技練習
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
音楽1	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
------	---

科目の目標		
<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p>	<p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができてい る。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【歌唱】 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう。	6	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 翼をください
5 6	【歌唱】 J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	10	【歌唱】 Lemon/星に願いを/負けないで/クリスマス・イヴ/若者の全て 【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》
7	実技試験 【鑑賞】 ピアノによる様々な表現を聴き取ろう。	6	リスト〈ラ・カンパネラ〉 ピアノ・ソナタ第23番《熱情》

8 9	【歌唱】【鑑賞】 ミュージカル・ナンバーを歌おう	8	歌唱：Memory/美女と野獣 鑑賞：ミュージカル《キャッツ》/ミュージカル映画『美女と野獣』
10 11	【器楽・創作】 和楽器（箏）に親しみ，演奏に挑戦しよう。	10	基本奏法を身に付ける 音階練習 さくら さくら変奏曲
11 12	【器楽】 表現を工夫してギター弾き歌いに挑戦しよう。 実技試験	8	7つのコード セーハを使う曲 ストローク奏法 日曜日よりの使者
1 2	【創作】【歌唱】 発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう。	8	故郷 ぼくはぼく サザエさん 創作：「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」
3	【鑑賞】 世界の諸民族の音楽 1年間のまとめ	4	アリラン オルティンドー

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
美術 I	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 高校生の美術1 (日本文教出版)
------	---

科目の目標		
<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。</p>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取っている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
	「身近なものを描く」 ～鉛筆デッサン～	8	・鉛筆の削り方 ・鉛筆の描く時の持ち方 ・鉛筆の調子の乗せ方 ・立体表現 ・陰影のつけ方 ・質感表現 ・果物、野菜のデッサン ・相互鑑賞
5			
6	「サインのデザイン」 ～ロゴマークデザイン～	14	・ドローイングアプリ（アイビスペイント）の扱い方を身に付ける ・ロゴマークの分析をもとにデザイナーの表現意図や工夫を学ぶ ・オリジナルのロゴマークデザインを考え
7			

			<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン画をドローイングアプリで清書する ・相互鑑賞
8			
9	「身近な素材と立体表現」 ～心動かされる動物像を作る～	12	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻家三沢厚彦の作品「ANIMALS」を鑑賞し、単純化されても動物の本質に迫る表現の面白さを学ぶ ・自分なりの表現で動物の絵を描く ・絵をもとに断熱材を使い、動物像を制作する ・相互鑑賞
10			
11	「ポスターカードを刷る」 ～消しゴムハンコ～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムハンコ作家の制作の様子や作品を見て特徴や制作手順、技法を学ぶ ・練習課題に取り組み、カッターなどの道具を扱う技能を高める ・干支の動物の特徴を踏まえながら個性的なデザインを考える ・デザイン案をもとに消しゴムハンコを彫り、紙に刷る ・相互鑑賞
12			
1	「西洋美術史」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの西洋美術の特徴を知ることによって諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取る。 ・日本美術との相違点や共通点などを考え、見方や感じ方の理解を深める。
2	「点が生み出す表情」 ～ピクセルアート（ドット絵）～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクセルアートの美術作品を鑑賞し、特徴を学び取る ・色についての基礎知識を学ぶ ・平塗りの技法を身に付ける ・ピクセルアートの絵柄を考え、制作する ・相互鑑賞
3			

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
書道 I	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科・1年	2	

使用教材	□書 I (光村図書)
------	-------------

科目の目標		
<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の基準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	4	・中学校国語科書写で学んだことの確認 ・用具用材について～文房四宝～ ・姿勢や執筆法
5	【漢字の書】 楷書の学習 楷書古典の鑑賞、比較	2	・楷書の特徴 ・表現の比較
6	楷書古典の臨書 ① 九成宮醴泉銘	5	・九成宮醴泉銘の臨書 直線的で鋭い点画 緻密に構成された点画 縦長で背勢
7	② 牛橛造像記	5	・牛橛造像記の臨書 鋭角的な点画 点画の角張った字形(方勢)

8			
9	③ 顔氏家廟碑	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔氏家廟碑の臨書 力のこもった用筆 蚕頭燕尾 正方形で向勢
10	楷書の創作	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の楷書古典の中から一つ選ぶ ・ 古典の特徴を生かした創作作品の制作
11	行書の学習 行書古典の臨書 ① 蘭亭序	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書の特徴 ・ 蘭亭序の臨書 流れの中に抑揚を利かせた用筆 多様な字形
12	② 風信帖	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風信帖の臨書 重厚感のある用筆 安定した字形
1	【仮名の書】 仮名の学習 古筆の臨書	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名の成り立ちについて ・ いろは(単体) ・ 蓬萊切 ・ 三色紙(散らし書き) ・ 創作
2			
3	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の学習 漢字仮名交じりの書の創作	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫 ・ 相互鑑賞

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語コミュニケーション I	普通科・探究科・総合ビジネス科・1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication I (東京書籍) <input type="checkbox"/> Power On English Communication I WORKBOOK (東京書籍) <input type="checkbox"/> 単語・熟語 Brick 1 (いいずな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (数研出版)
------	--

科目の目標		
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり使えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準 (毎日の学習場面での具体的な規準)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解している。 基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使おうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[やり取りができた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Japan's New Tourism	5	動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形
	Zoom in with コーパス 1	2	話しことばと助動詞
5	Lesson 2 Light from Creatures	6	受け身，現在完了形，現在完了進行形
	Sounds Interesting 1	1	音節
6	Lesson 3 Routes to the Top	6	動名詞，不定詞，S+V+O [that 節]
	Sounds Interesting 2	1	語の強勢（目立つ音節）
7	Lesson 4 Left to Right, Right?	6	後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級
	Zoom in with コーパス 2	1	get を使いこなし方
8	Summer Reading Mama's Bank Account	4	既習事項
9	Lesson 5 Banana Paper	6	関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to 不定詞
	Zoom in with コーパス 3	3	話しことばと関係代名詞(1)
10	Lesson 6	6	It+be 動詞＋形容詞＋that 節，S+V [be 動

	Patterns in Human Behavior		詞以外+C], S+V+O+C [形容詞]
	Sounds Interesting 3	1	文の強勢 (文末の内容語)
11	Lesson 7 No Plastic or No Future	6	関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what
	Sounds Interesting 4	1	音のつながり (同じ子音が連続する場合)
12	Lesson 8 Oh My Cod!	6	現在分詞の分詞構文, 関係代名詞の非制限用法, 過去完了形
	Zoom in with コーパス 4	3	話しことばと関係代名詞(2)
1	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	6	S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O ₁ +O ₂ [if などの節]
2	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	6	wish+仮定法過去の節, 仮定法過去の as if 節, 仮定法過去の if 節
3	Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	3	既習事項

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
家庭基礎	総合ビジネス科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 学習ノート 熊本県版家庭科学学習ノート
-------------	--

科目の目標		
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会の中から問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察し根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知ること・できるようになること、の意味を理解する] ・プリントの記入、スライドの制作、安全への配慮と適切な道具の扱いができ、知識や技術が定着した。 ・調べ学習やプロジェクト学習の視点が定まっており、展開が的確である。	B 評価の規準 [状況に応じ適切に判断し、自分の意見を述べる] ・学習内容に関する自分の意見を表現できる。スライドを見やすく、わかりやすく製作して発表できる。 ・班やグループで意見交換をして考えを深めたり、活動したりすることができた。	B 評価の規準 [粘り強さと向上心がある] ・授業の道具がそろっており時間どおりに授業が開始できる。 ・本時の学習内容を理解し、真剣に粘り強く取り組んでいる。 ・自らのよりよい生活がどうあるべきかを探り、今後の課題を見いだそうとしている。 ・締切日までに提出できた。
※定期考査、実技試験 ※実習・プロジェクト製作物	※定期考査 ※プレゼン内容・発表態度	※プロジェクトの記録 ※学習ファイル・実習の記録
下の項目などのように、特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。 ・社会全体または地域の課題を意識するなど、目的意識を持って学習に取り組んだ。 ・学習や実習活動が的確かつ確実であり、他を率いる存在であった。 ・自らの生活を振り返り改善できた。家族や他者への提案ができた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 生涯を見通す 人生をつくる	4	○人生を展望する ○目標を持って生きる ○人生をつくる
5	人生をつくる これからの生活を創造する	3	○家族家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会 ○生活をデザインする
6	食生活をつくる	6	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○調理の基礎 □食物調理技術検定4級
7	食生活をつくる ホームプロジェクト	5	○食生活の選択と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ○食生活と文化の知恵
		3	○ホームプロジェクト計画作成 □夏休み課題
8	ホームプロジェクト	2	○ホームプロジェクト発表会

9	衣生活をつくる	6	<input type="radio"/> 被服の役割を考える <input type="radio"/> 被服を入手する <input type="radio"/> 被服を管理する
10	衣生活をつくる	6	<input type="radio"/> 衣生活の文化と知恵 <input type="radio"/> これからの衣生活 <input type="checkbox"/> 被服製作実習
	超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	5	<input type="radio"/> 高齢者の心身の特徴 <input type="radio"/> これからの超高齢社会 <input type="radio"/> 私たちの生活と福祉 <input type="radio"/> 社会保障の考え方 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座
11	経済生活を営む	4	<input type="radio"/> 情報の収集と意思決定 <input type="radio"/> 購入・支払いのルールと方法 <input type="radio"/> 消費者の権利と責任 <input type="radio"/> 生涯の経済生活を見通す <input type="radio"/> これからの経済生活
12	持続可能な生活を営む	4	<input type="radio"/> 持続可能な社会を目指して <input type="radio"/> 私たちの生活と福祉 <input type="radio"/> 社会保障の考え方
1	子どもと共に育つ	6	<input type="radio"/> 命を育む <input type="radio"/> 子どもの育つ力を知る <input type="radio"/> 子どもとのかかわり <input type="radio"/> 子どもとのふれあいから学ぶ <input type="radio"/> これからの保育環境
2	住生活をつくる	4	<input type="radio"/> 住生活の変遷と住居の機能 <input type="radio"/> 安全で快適な住生活の計画 <input type="radio"/> 住生活の文化と知恵 <input type="radio"/> これからの住生活
3	学校家庭クラブ活動	2	<input type="checkbox"/> 学校家庭クラブ活動

令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
ビジネス基礎	総合ビジネス科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 実教出版 ビジネス基礎 <input type="checkbox"/> ビジネス基礎 準拠問題集 <input type="checkbox"/> 全商商業経済検定模擬試験問題集
------	---

科目の目標		
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>経済社会における事例など実際のビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けるようにすること。</p>	<p>ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養うこと。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組む態度を養うこと。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・単用の用語や事象について、幅広く教科書以外の文献等から知識や技術の習得ができた。 ・知識・技能の習得ができ、日常生活の事象との関連を推測できた。	B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・単用の用語や事象について、現状と課題の把握ができ、自分の意見として表現することができた。	B評価の規準 [課題や提出物が出せた] ・学習活動に真剣に取り組むことができた。 ・授業中の課題や授業評価や宿題等の提出ができた。 ・自分自身の意見だけでなく、他者の意見も聴き、総合的・創造的な判断ができた。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
※特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	※本校での商業 business の学びについて いざ、ビジネスの世界へ	2	・本校での3年間の学びについてのガイダンス ・ビジネスの正解で活躍 ・ビジネスで必要な心構え ・しっかり楽しく学んでいこう
	私たちの社会とビジネス	4	・私たちの生活とビジネス ・社会を支えるビジネス ・産業構造の変化とビジネス ・情報化とビジネス ・グローバル化とビジネス ・社会の課題とビジネス
5	コミュニケーション	1	・コミュニケーションの役割 ・話し方と聞き方
	ビジネスマナー		・ビジネスマナーの重要性

		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なビジネスマナー ・ 場面に応じたビジネスマナー ・ ロールプレイング
	情報の入手と活用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の重要性と扱う際の注意点 ・ 情報の入手方法 ・ 情報の活用
	経済の仕組みとビジネス	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済主体とその活動 ・ 生産要素と希少性
6	経済の仕組みとビジネス	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレードオフと機会費用 ・ 価格決定とその変動の仕組み
	経済と流通	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流通の必要性 ・ 流通の役割 ・ 流通業の種類 ・ 流通業の進化
7	ビジネスの種類	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ もの和服务 ・ 製造業 ・ サービス業 ・ 製造業のサービス化
8	小売業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小売業のビジネス ・ 小売業の種類 ・ 小売業の新たな展開
9	卸売業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卸売業のビジネス ・ 卸売業の種類 ・ 卸売業の新たな展開
	物流業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流業のビジネス ・ 物流業の種類 ・ 物流業の新たな展開
	金融業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融業のビジネス ・ 金融業の種類 ・ 金融業の新たな展開
10	情報通信業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信業のビジネス ・ 情報通信業の種類 ・ 情報通信業の新たな展開
	ビジネスと企業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業とは ・ 経営組織の種類と運営 ・ 経営戦略 ・ プロジェクト・マネジメント
	マーケティングの重要性	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティングとは ・ マーケティングの手順
11	資金調達	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金と資金調達

			<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達の方法 ・資金調達に伴う責任
	企業活動と税	1	<ul style="list-style-type: none"> ・税の役割と種類 ・税の申告と納付
	雇用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の意義 ・日本における雇用の特徴 ・さまざまな雇用形態 ・雇用に伴う企業の責任
	売買取引の手順	2	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約とは ・売買契約条件の取り決め ・売買契約の締結 ・売買契約の履行
12	代金決済	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現金通貨による決済 ・小切手による決済 ・約束手形による決済 ・銀行振り込みと口座振替による決済 ・キャッシュレス決済
	ビジネス計算の基礎	2	<ul style="list-style-type: none"> ・割合 ・商品数量と代価 ・仕入原価と売価（販売価格）
	ビジネス計算の応用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・度量衡の換算 ・外国貨幣の換算 ・利息の計算
1	さまざまな地域の魅力と課題	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状 ・地域活性化の動き
2	地域ビジネスの動向	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型ビジネス ・地域の伝統産業 ・地域の魅力を発掘するビジネス
3	実習	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域マップの作成 ・成果発表

令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
簿記	総合ビジネス科1年	4	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新簿記（実教出版） <input type="checkbox"/> 問題集 最新段階式 簿記検定問題集3級（実教出版） <input type="checkbox"/> 問題集 簿記実務検定模擬試験問題集3級（実教出版）
-------------	--

科目の目標		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめ】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている。</u>	B 評価の規準 自らの学習を調整しようとしているか。
※定期考査や小テスト等によって評価する。	※定期テストや話し合いの場面等によって評価する。	※ノートや問題集における記述、授業中の発言、教師による行動観察、宿題提出の期日厳守等によって評価する。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎	3	○簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解させる。 ○簿記の種類、前提条件など簿記のアウトラインを理解させて、簿記の学習の心がまえを養う。
	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	5	○資産・負債・純資産の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解させる。 ○貸借対照表の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 ○純損益を計算する方法や各種の等式を理解させる。
	第3章 収益・費用と損益計算書	3	○収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解させる。 ○損益計算書の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟させる。

5	第4章 取引と勘定	4	<ul style="list-style-type: none"> ○取引により、資産・負債・資本が増減することを理解させる。 ○勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 ○勘定口座の形式を明らかにする。 ○勘定の記入法に習熟させる。 ○取引を分解して、勘定に記入する方法を理解・習熟させる。
	第5章 仕訳と転記	2	<ul style="list-style-type: none"> ○仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳に習熟させる。 ○仕訳を勘定口座に転記する方法を理解させ、習熟をはかる。
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳	4	<ul style="list-style-type: none"> ○仕訳帳の形式・記入法を理解させ、記帳に習熟させる。 ○総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記のしかたに習熟させる。
	第7章 試算表	2	<ul style="list-style-type: none"> ○試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方に習熟させる。
6	第8章 精算表	3	<ul style="list-style-type: none"> ○精算表の役割を明らかにして、その作り方に習熟させる。 ○精算表から複式簿記のしくみを理解させる。
	第9章 決算	8	<ul style="list-style-type: none"> ○決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 ○決算手続き全体の流れを理解させ、その記帳に習熟させる。(英米式決算法) ○繰越試算表の役割を理解させる。 ○決算を正確に行う心がまえを養う。
	第2編 取引の記帳(その1) 第10章 現金・預金などの取引	6	<ul style="list-style-type: none"> ○現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解させる。 ○現金過不足の処理法を理解させる。 ○当座預金勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法について理解させる。 ○小口現金のシステムを理解させ、その記帳方法と記帳の習熟をはかる。
7	第11章 商品売買の取引	6	<ul style="list-style-type: none"> ○分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解させる。 ○仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と

			<p>記帳方法を明らかにし、その記帳の方法に習熟させる。</p> <p>○商品有高帳については、先入先出法と移動平均法を理解させる。</p> <p>○売上原価を計算し、商品売買損益を計算する方法について明らかにする。</p>
	第12章 掛け取引	3	<p>○掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解させる。</p> <p>○人名勘定の意味を明らかにする。</p> <p>○売掛金元帳と買掛金元帳の役割を明らかにし、その記帳に習熟させる。</p>
	第13章 手形の取引	5	<p>○手形の種類を明らかにする。</p> <p>○約束手形のしくみと記帳方法を理解させ、各種取引の記帳方法について習熟させる。</p> <p>○手形記入帳の役割と記帳方法を理解させる。</p>
8			
9	第14章 その他の債権・債務の取引	2	<p>○売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解させる。</p> <p>○各種の債権・債務の記帳に習熟させる。</p>
	第15章 固定資産の取引	2	<p>○固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解させる。</p> <p>○固定資産台帳の役割を明らかにする。</p>
	第16章 個人企業の資本の取引	4	<p>○個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解させる。</p> <p>○引出金勘定を用いた場合の記帳方法を理解させる。</p> <p>○所得税と住民税の納付は資本の引き出しにあたることを説明し、その記帳方法を理解させる。</p>
	第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	2	<p>○販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解させる。</p> <p>○個人企業に課せられる税金と消費税の</p>

			記帳方法を理解させる。
10	第3編 決算（その1） 第18章 決算整理（その1）	8	○決算整理の意味とその必要性を理解させる。 ○3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解させ、その記帳に習熟させる。
	第19章 8桁精算表	4	○8桁精算表の意味を明らかにし、その作成に習熟させる。
	第20章 帳簿決算	4	○帳簿決算の意味とその必要性を理解させる。 ○総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成に習熟させる。
11	第4編 会計帳簿と帳簿組織 第21章 会計帳簿	2	○いままで学んだ帳簿の種類をあげ、分類させてみる。 ○分課制度と帳簿組織との関連について理解をはかる。
	第22章 伝票の利用	4	○証ひょう・伝票の意味とその役割を明らかにする。 ○3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解させ習熟をはかる。
	第23章 会計ソフトウェアの活用	7	○取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解させる。 ○会計ソフトウェアと伝票・証ひょうとの関わりを明らかにし、伝票・証ひょうから会計ソフトウェアに取引を入力する方法に習熟させる。
12	第5編 取引の記帳（その2） 第24章 特殊な手形の取引	4	○手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○営業外受取手形と営業外支払手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。
	第25章 有価証券の取引	2	○有価証券の意味と計算のしかた、買入れたとき、売却したときの記帳方法を理解させる。
1	第26章 本支店会計	6	○支店会計の独立の意味を理解させる。

			<p>○支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。</p> <p>○本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。</p>
	第 27 章 （発展学習）最近の実務に広がる取引	3	○クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし、理解させる。
2	第 6 編 決算（その 2） 第 28 章 決算整理（その 2）	8	<p>○費用・収益の繰り延べ・見越しや切手・はがきなどの未使用分の意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。</p> <p>○減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。</p> <p>○費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成について習熟させる。</p>
3	発展編 株式会社の取引 第 29 章 株式会社の取引と財務諸表	8	<p>○株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。</p> <p>○純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。</p> <p>○法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。</p> <p>○株式会社の財務諸表の作成に習熟させる。</p>

令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
情報処理	総合ビジネス科1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 商業716「情報処理」 <input type="checkbox"/> 問題集 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 3級 <input type="checkbox"/> 問題集 全商情報処理検定模擬試験問題集 3級
-------------	---

科目の目標		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けてようにする。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・ビジネスに関する情報に関する個別の事実的な知識を口頭または記述によって表出する。 ・一定の手順や段階を追って身につく個別の技術を使って表出する。	B 評価の規準 ・知識及び技術を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力などを他者に表出する。	B 評価の規準 ・自らの学習を調整しようとしているか。
※定期考査や小テスト、実技テスト等によって評価する。	※定期テストやレポート、話し合いの場面等によって評価する。	※ノートや問題集における記述、授業中の発言、教師による行動観察、宿題提出の期日厳守等によって評価する。
特に成果があった場合は A 評価とする。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性	2	・情報の意義と役割・情報システム・ビジネスとコンピュータ
	2節 情報モラルと法規	2	・情報社会の価値とモラル・情報社会と法規・個人情報の保護・知的財産権の保護
	3節 コミュニケーションと情報デザイン	3	・情報デザインの重要性・情報デザインの影響と効果
5	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要	3	・ハードウェア・ソフトウェア
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成	1	・情報通信ネットワークの役割・情報通信ネットワークの構成・インターネットのしくみ
	3節 インターネットの活用	2	・Web ページ検索・Web ページの活用・電子メールの活用
	4節 情報セキュリティの確保	2	・セキュリティ管理の重要性・セキュリティの管理

6	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計	3	・表計算ソフトウェアの活用例統計の整理・データベース入力と計算式の設定
	2節 関数を利用した表の作成	10	・基本的な関数
7	3節 グラフの作成	5	・グラフの種類と概要・基本的なグラフの作成
8	3節 グラフの作成	5	・応用的なグラフの作成と活用
9	3章 情報の集計と分析 4節 情報の整列・検索・抽出	7	・データの整列・データの検索・抽出
	5節 問題の発見と解決の方法	5	・問題発見と問題解決のプロセス・モデル化とシミュレーション・アルゴリズムとプログラム
10	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現	1	・ビジネス文書の役割・ビジネス文書の構成
	2節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法	8	・ワープロの操作と入力方法
11	2節 基本文書の作成 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書	8	・ワープロを利用した文書の作成社外文書・社内文書
12	3節 応用文書の作成	8	・表計算を含んだ文書の作成・表計算とグラフを含んだ文書の作成・表現力に富んだ報告書の作成・その他の機能
1	3章 情報の集計と分析 2節 関数を利用した表の作成	8	・基本的な関数
2	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法	6	・プレゼンテーションの意義・プレゼンテーションの基礎
3	2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	3	・プレゼンテーションの種類・プレゼンテーションソフトウェアの利用・プレゼンテーションのスライドの作成